

平成26年度 兵庫県大学図書館協議会研修会  
平成26年10月24日(金)

# ぴあらの機能と取り組みについて

立命館大学図書館 図書館サービス課  
蔵城一樹(kurajo@st.ritsumei.ac.jp)

# 本日の内容

---

- ・大学・図書館紹介
- ・ぴあらとは
- ・ぴあらの基礎情報
- ・ぴあら開設の経緯
- ・ぴあらの特徴
- ・ぴあらの利用状況
- ・ぴあらの現状
- ・ぴあらの今後

# 大学・図書館紹介

---

## 立命館大学

■学生数(2014年5月1日現在)

学部生:32,449名、院生:2,139名

■学部

13学部(法、経済、経営、産業社会、文、理工、国際関係、政策科学、  
情報理工、映像、薬、生命科学、スポーツ健康科学)

## 図書館(びあら設置)

■衣笠キャンパス(2013年度)

①衣笠図書館

蔵書数(図書):952,190冊、入館者数:974,027名

■びわこ・くさつキャンパス(2013年度)

②メディアセンター

蔵書数(図書):351,834冊、入館者数:581,561名

③メディアライブラリー

蔵書数(図書):499,200冊、入館者数:515,714名

ぴあろとは

---

Peer Learning Room (呼称: **ぴあら**)

## Concept

「学生どうし(Peer)による主体的で創造的な新しい学びのスタイル」

図書館の一施設に止まらず部課を越えて連携を図り、学生どうしによる主体的・連鎖的な学びを支援する空間。

ワンストップの学習環境・サポート機能を有することで学びの転換を促し、学生どうしが創造的な学びのスタイルを身に付け、多様な学びがぴあらを軸に交差・深化することを目的とする。

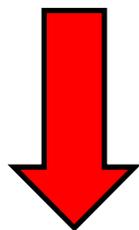
# ひまわりの基礎情報

	衣笠図書館	メディアセンター	メディアライブラリー
キャンパス	衣笠キャンパス	びわこ・くさつキャンパス	びわこ・くさつキャンパス
対象学部	法、産業社会、文、国際関係、政策科学、映像	理工、情報理工、薬、生命科学	経済、経営、スポーツ健康科学
開設時期	2011年4月	2012年4月	2012年4月
面積	約291m <sup>2</sup>	約173m <sup>2</sup>	約358m <sup>2</sup>
座席数	92席	64席	110席

# ひあろ 開設の経緯－図書館の課題意識

## 図書館では

- 【サービス】 ⇒ リテラシー・ガイダンス、シラバス指定図書、リザーブブック
- 【施設】 ⇒ グループ学習室
- …といった学びを支援するサービスや施設がすでに存在



図書館が学園ビジョンで求められている

「学びのコミュニティ形成の中核的役割」を担うには…

## 図書館の課題意識

- ・多様な学生が学びを軸に交差する場所の提供
- ・学びの転換(高校から大学)を生み出す支援体制・空間の提供
- ・学びを発信し、仲間(Peer)と共に学びを深める環境の提供

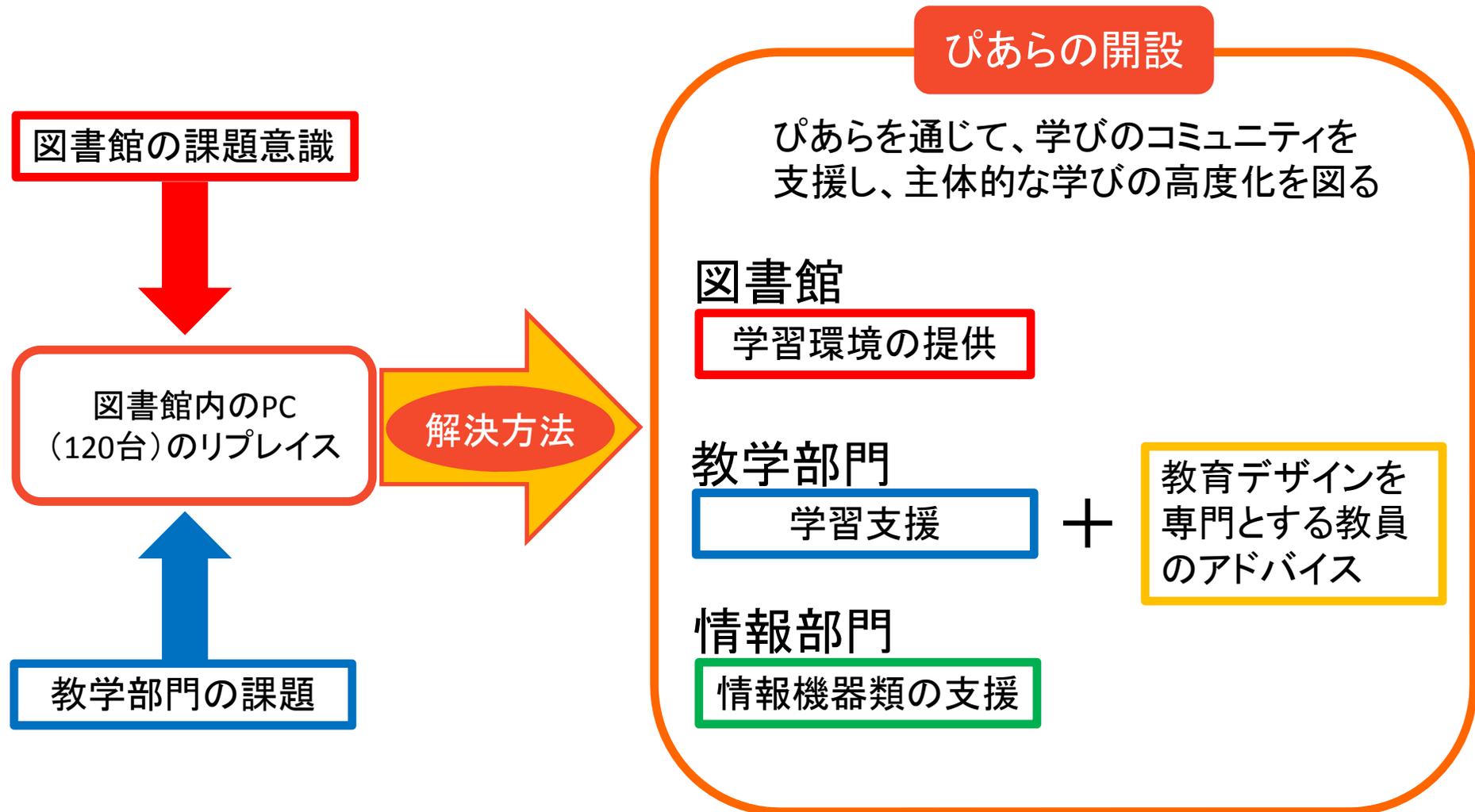
# ひまわり 開設の経緯－教学部門の課題

---

## 教学部門の課題

- 初年次の学習支援の必要性
- 「知識の伝達」から「知識の創造・自主的学び」へのパラダイム転換
- 「学び」や「教える手法」等の多様化
- 授業と連携したサポートや空間を求める声

# ひあ開設の経緯 — 部門を越えた連携



# ぴあらの特徴

## 利用しやすい環境

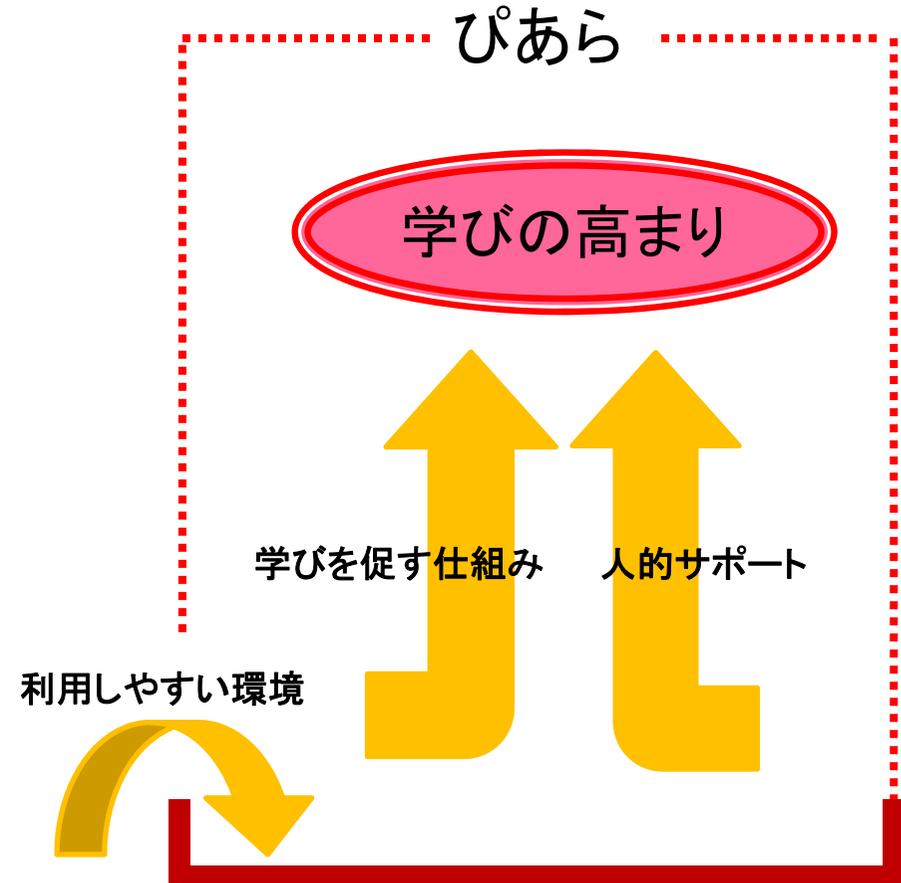
- ①アクセスのよさ
- ②機能的で開放的な空間設計
- ③心地よい配色デザイン
- ④ポジティブメッセージの発信
- ⑤ドリンクポリシーの適用
- ⑥予約なしに設備・情報端末が利用可能

## 学びを促す仕組み

- ①ぴあら内外から学びが見える空間の可視化
- ②他の学生の学びが感じられる距離感
- ③アカデミックな雰囲気
- ④可変性が高い可動式ツール
- ⑤容易に利用できる多様なコンテンツ
- ⑥情報端末を中心とした支援ツール

## 人的サポート

- ①学生ライブラリースタッフ
- ②ライティングサポートなどの学習支援サービス
- ③学習支援などに関する企画

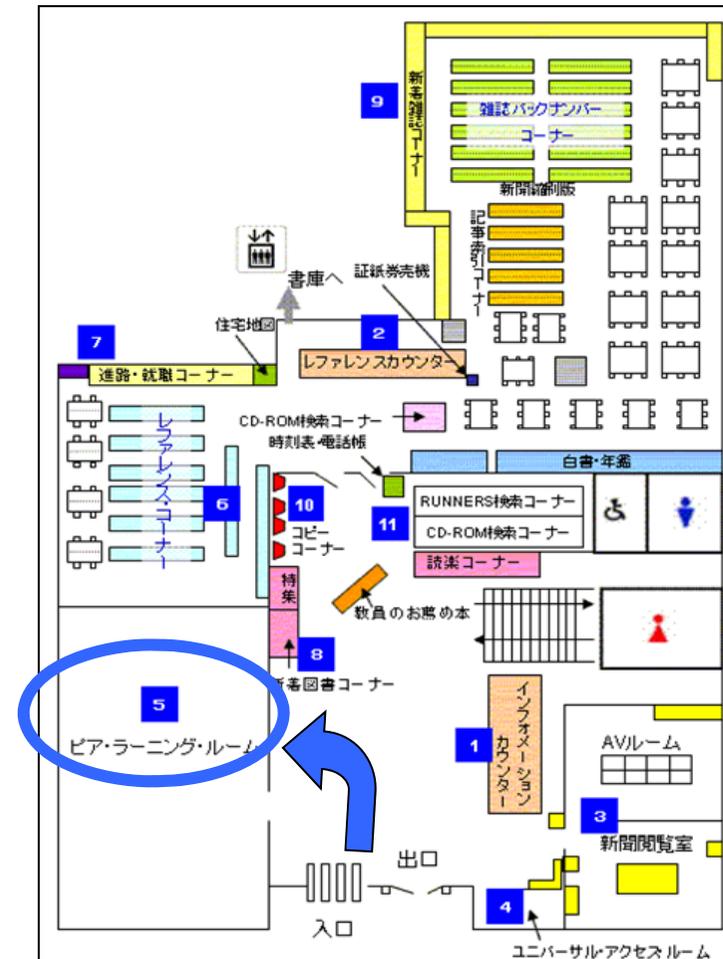


# ひまわりの特徴－利用しやすい環境

---

- ①アクセスのよさ
- ②機能的で開放的な空間設計
- ③心地よい配色デザイン
- ④ポジティブメッセージの発信
- ⑤ドリンクポリシーの適用
- ⑥予約なしに設備・情報端末が利用可能

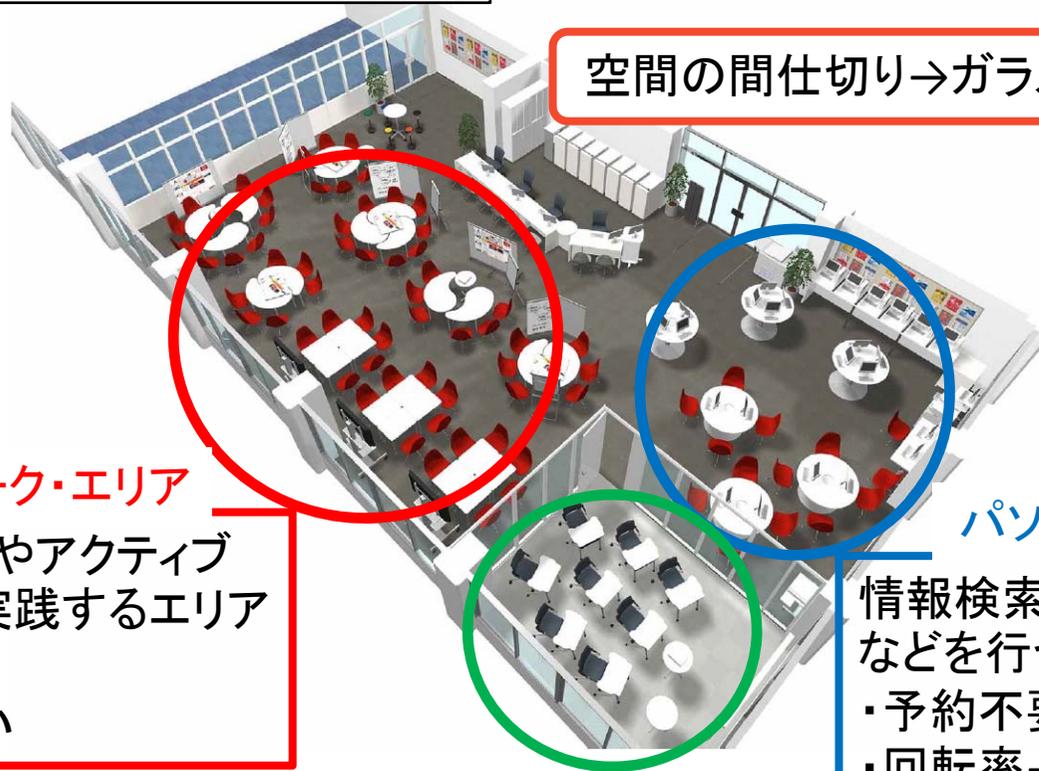
# ①アクセスのよさ(図書館入口付近の空間配置)



## ②機能的で開放的な空間設計

衣笠図書館のぴあらの場合

空間の間仕切り→ガラス



### グループワーク・エリア

グループ学習やアクティブラーニングを実践するエリア

- ・予約不要
- ・回転率→遅い

### パソコン・エリア

情報検索やメールチェックなどを行うエリア

- ・予約不要
- ・回転率→早い

### プレゼンテーションルーム

本格的なプレゼンテーション練習が可能なエリア

- ・要予約

### ③心地よい配色デザイン



ぴあらのロゴ

各種ポスター



- ・カウンター・机 → ホワイト
- ・椅子 → レッド
- ・床 → グレー

#### ④ ポジティブメッセージの発信

→「～禁止」というネガティブなメッセージではなく  
「～可能」というポジティブなメッセージを発信

#### ⑤ ドリンクポリシーの適用

→ふたつき飲み物は持ち込み可能



#### ⑥ 予約なしに設備・情報端末が利用可能

→プレゼンテーションルーム以外の施設や情報  
端末類は予約なしで利用可能  
→施設や情報端末の利用に煩わしさが無い  
→持ち物はUSBメモリだけでよい



# ひまわりの特徴－学びを促す仕組み

---

- ① ぴあら内外から学びが見える空間の可視化
- ② 他の学生の学びが感じられる距離感
- ③ アカデミックな雰囲気
- ④ 可変性が高い可動式ツール
- ⑤ 容易に利用できる多様なコンテンツ
- ⑥ 情報端末を中心とした支援ツール

### ①ぴあら内外から学びが見える 空間の可視化

→学びが見える劇場型の空間で学ぶ意欲を刺激



### ②他の学生の学びが 感じられる距離感

→ぴあらに来ると学びのスイッチが入る  
→学びのコミュニティが相互に刺激し合う



### ③アカデミックな雰囲気

→「心地よさ」と「アカデミックさのバランス」  
→リラックスしながら学びに集中できる



### ④可変性が高い可動式ツール

→机、椅子、ホワイトボードなどは可能式  
→学びのコミュニティ・スタイルに合わせて  
自ら学習環境をデザイン可能

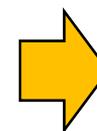


## ⑤ 容易に利用できる多様なコンテンツ

図書館の紙媒コンテンツ  
(辞典や地図などの館内  
利用資料含む)

+

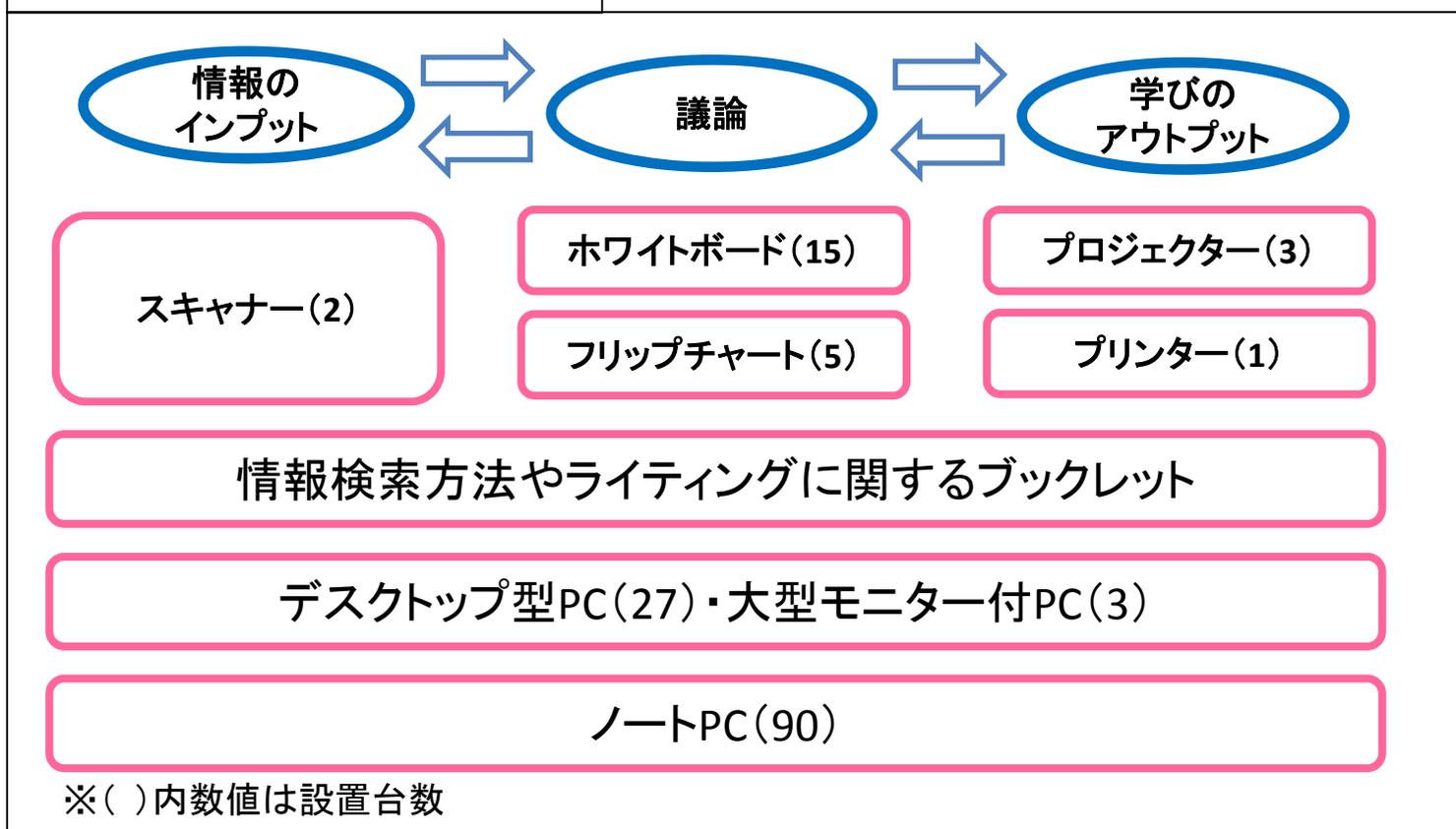
データベース・電子書籍  
などのWebコンテンツ



図書館内にある  
ラーニング・ commons  
のメリット

## ⑥ 情報端末を中心とした支援ツール

衣笠図書館のぴあらの場合



# ぴあらの特徴－人的サポート

---

- ①学生ライブラリースタッフ
- ②ライティングサポートなどの学習支援サービス
- ③学習支援などに関する企画

## ①学生ライブラリースタッフ(図書館が雇用する学生スタッフ)

- ・ぴあらの開室時間(平日9:00~21:45、土日10:00~16:45)に2~3名が常駐
- ・ノートPC貸出・返却対応、情報検索サポート、情報機器の操作説明などを実施
- ・学習に適した環境を維持

## ②ライティングサポートなどの学習支援サービス

- ・院生がレポートの書き方などライティングにかかわるサポートを実施
- ・平日13:00~17:50の時間にカウンターでサービスを実施

### ③学習支援などに関する企画

- ・教学部と連携し、授業での困りごとやノートテイク、ライティングに関するサポート企画を教員や院生が講師となって実施。2014年度前期は各キャンパスで全5回実施。
- ・後期はレポート作成、プレゼンテーションの方法、学生生活支援企画を教学部や学生部(学生生活を支援する部門)と連携して実施予定。



#### 第1回 「勉強で困っていませんか？」

学生の授業での悩みを洗い出し、グルーピングしながら先輩学生と教員がアドバイス。



#### 第2回 「授業を受けるコツ」

授業の受講方法について悩みを洗い出し、教員がアドバイスを実施。ノートテイキングに関するDVDも視聴。



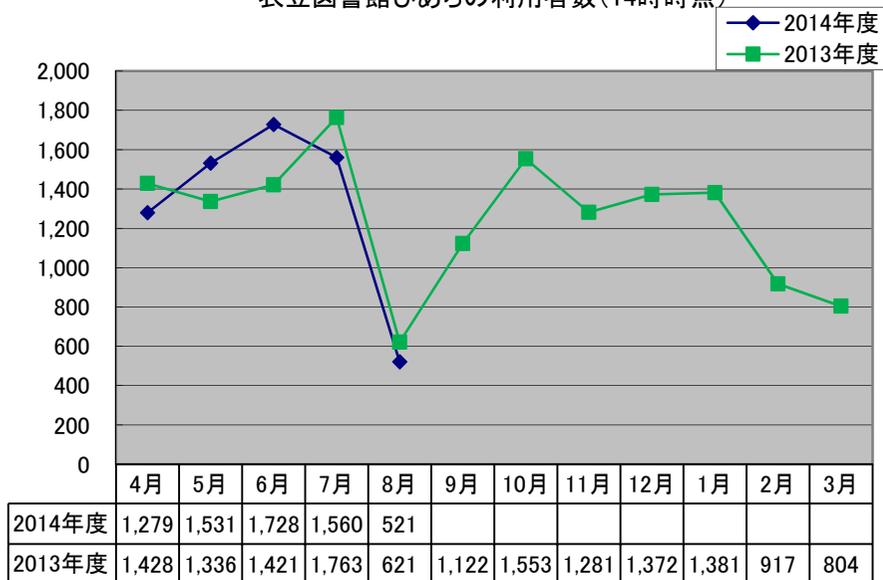
#### 第3～5回 「レポートを書く①～③」

レポートの表記・表現に関するルールや参考文献や引用の書き方についてレクチャーを実施。

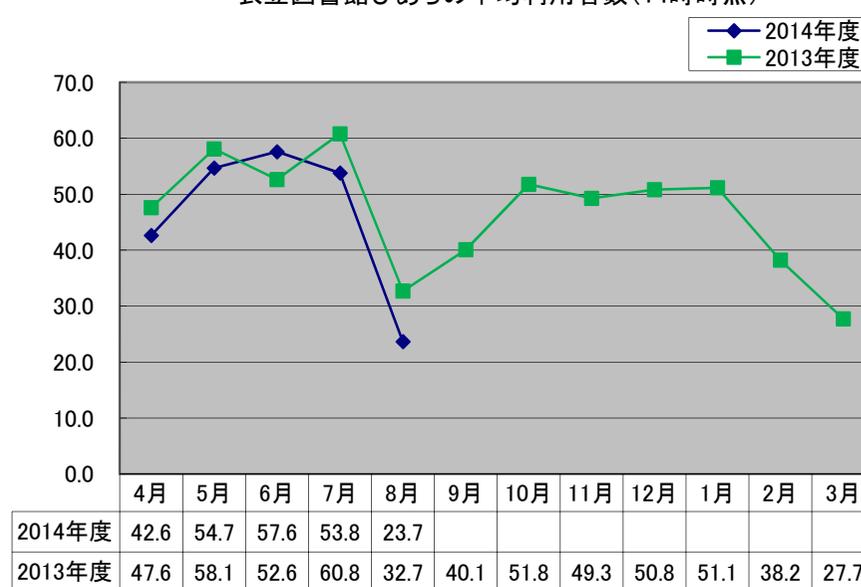
# ひまわりの利用状況

- ・2時間毎(10時、12時、14時、16時、18時、20時)に利用者数を定点観測
- ・2014年度(4月～8月)14時時点の数値の合計は6,619名
- ・2014年度開講期(4月～7月)14時時点の平均値は52.2名
- ・2014年度開講期(4月～7月)のプレゼンテーションルーム稼働率30.0%  
 [「平日利用コマ数÷平日総コマ数」にて算出。平日1日のコマ数は1～7限+昼休みの8コマ]
- ・3～4名での利用が多く、授業の課題などを取り組む学生が多い

衣笠図書館ぴあらの利用者数(14時時点)



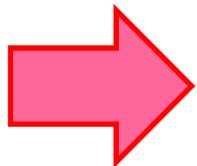
衣笠図書館ぴあらの平均利用者数(14時時点)



# ひまわりの現状

---

- 学びの場として積極活用
- 学びのコミュニティの活性化
  - グループ学習多、他のコミュニティを刺激
- 学生の学びの変化
  - 図書館資料を活用した学び
- ぴあらを通じた学生の成長 ...etc.

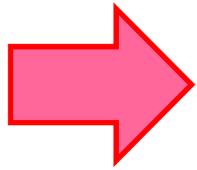


本学の学びに必要な環境として定着

# ひまわりの今後

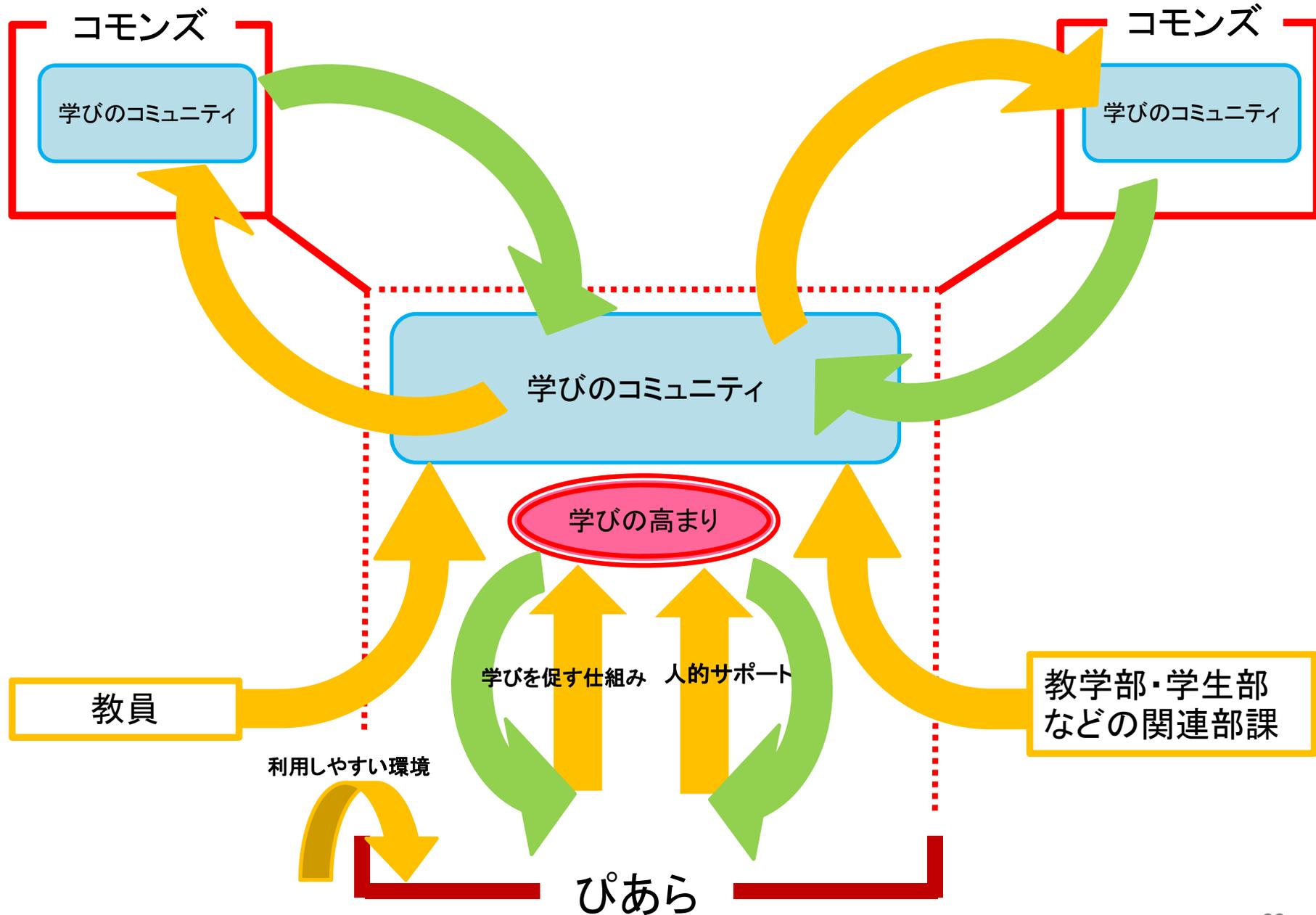
---

- ・正課や学部などの枠を超えた教員や学生の交流
- ・学生と学生、教員、関連部課などが繋がり、支援に結びつく仕組み
- ・マルチプル・ラーニング・コモンズ ...etc.



大学図書館にあるラーニング・コモンズだからこそ整備・充実させなければならない環境、機能、サービスを関連部課や教員とともに追及

# ぴあらを軸にした多様な学びの連鎖・循環



# 参考情報

---

- ・立命館大学図書館ホームページ

<http://www.ritsumei.ac.jp/library/>

- ・ぴあらホームページ

<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/lib/plr/index.html>

ご清聴ありがとうございました